

体を使って真の情報をつかむ

CL からの提言—CL News letter から

David K. Reynolds, Ph.D.
dkreynoldsjapan@gmail.com (日本語対応返事英語)
<http://constructiveliving2.weebly.com/>

CL News: Vol. 18, No. 4 (April, 2016)

苦しみが必ずしも忍耐力をつくるわけではありませんが、人生に役に立ちます。あらゆる悲しみは有り難いことに物事にうまく応えるきっかけ、チャンスになります。そして、さまざまな状況にも前向きな行動が上達する機会にもなります。起きてくる苦悩にどう対応するかは自分次第です。

CL News: Vol. 18, No. 6 (June, 2016)

心と同じように、手を使って腕前を磨いてください。オートバイを塗り替える、修理する。小屋や物置、庭を作る。キルトを作るなどあなたの骨折りですぐにできる上がるもので、わかりやすい別のやり方手順をみつけてください。

現代社会はあまりにも目の前の具体的な現実から楽な方に離そうと働きかけます。物がどのように動くのか、壊れたときどう修理するのかわかりません。そこで、壊れた部品やあるいは器具すべてを交換するか、修理専門店員に来てもらうことになります。

少しでも手仕事ができると便利です。身体を使って物から情報を得ると、もっと实际的に状況にしっかり合わせるようになります。仮想現実案と理論（話し）でできたものには限界があります。TV ドラマを見て泣くのは本当の涙ではありませんね。（アメリカ・オレゴン州CLセンター所長）

 [目次へ戻る](#)